



平成 26 年 3 月 26 日

各 位

会 社 名 オリコン株式会社
 代 表 者 名 代表取締役社長 小池 恒
 (東証 JASDAQ コード番号 4800)
 問い合わせ先 執行役員企業広報部長 日高輝明
 T E L 03-3405-5252 (代表)

【開示事項の経過】当社連結子会社(オリコン・エナジー株式会社)の特許譲受けに関するお知らせ

平成 26 年 3 月 11 日に開示いたしました「当社連結子会社 (オリコン・エナジー株式会社) の特許譲受けに関するお知らせ」につきまして、本日、特許共有及び実施についての契約が締結されましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 特許譲受けの概要

当社の連結子会社であるオリコン・エナジー株式会社 (代表取締役社長：二宮貞治、本社：東京都港区、以下「オリコン・エナジー」という。) は、マグネシウム発電の研究者である東北大学名誉教授小濱泰昭氏が設立した株式会社 S toM (代表取締役社長：小濱泰昭、本社：宮城県日向市、以下「S toM」という。) と平成 25 年 11 月 1 日付で資本業務提携契約を締結し、マグネシウム関連製品の早期の製品化を目指した取り組みを開始しています。

小濱泰昭氏が実施したマグネシウム燃料電池関連の研究成果に関しては、国立大学法人東北大学、独立行政法人産業技術総合研究所、日本素材株式会社 (代表取締役：八島芳信、本社：宮城県仙台市、以下「日本素材」という。) の 3 者が共同で国内特許出願 (出願件数：6 件) を行っていました。

オリコン・エナジーでは、出願中の特許群に関して、S toM と協同で当該知的財産権を有効かつ機動的に活用し、マグネシウム関連製品の製品化に向けた取り組みを様々な企業と進めやすくするため、特許を受ける権利のうち日本素材の持分全てをオリコン・エナジーへ譲渡すること (以下「本件」という。) の交渉を各共同出願人に対して行ってきました。その結果、日本素材より本件の了解が得られたため、平成 26 年 3 月 11 日開催のオリコン・エナジーの取締役会において、本件を決議するとともに、資金決済を確定いたしました。

今回、他の共同出願人である国立大学法人東北大学及び独立行政法人産業技術総合研究所より本件の同意を得られたため、本日付で、国立大学法人東北大学、独立行政法人産業技術総合研究所、オリコン・エナジーの 3 者間で特許共有及び実施についての契約を締結いたしました。

今回、譲渡された特許群に関しては、オリコン・エナジーは S toM との業務提携の一環として、当該実施権を S toM に対して独占的に許諾する方針です。特許群のうち、発明の名称が「マグネシウム燃料電池」であるものについては、マグネシウム燃料電池を実用化させていく上で、基本特許と言えるものです。今後、S toM とオリコン・エナジーは、関連する周辺技術について共同で研究開発を行い、マグネシウム燃料電池関連の知的財産権の強化を図っていく方針です。

2. オリコン・エナジーに譲渡された特許の概要

	発明の名称	国内特許公開番号 または出願番号	出願人
No. 1	マグネシウム燃料電池	特開 2012-234799	国立大学法人東北大学 独立行政法人産業技術総合研究所 オリコン・エナジー株式会社
No. 2	発電システムの運転方法	特開 2013-170286	
No. 3	マグネシウム製錬方法	特開 2013-185255	
No. 4	石灰窒素を用いたマグネシウム製錬方法	特開 2013-221194	
No. 5	懸濁水の脱水・洗浄装置	特願 2012-186992	
No. 6	マグネシウム蒸気凝縮装置	特願 2012-234397	

※No. 1 から No. 4 については、すでに公開されていますので、下記 URL の独立行政法人工業所有権情報・研修館のサイトで公開番号を入力していただくと、内容をご覧いただくことができます。

<http://www.ipdl.inpit.go.jp/TokuJitu/tjbansaku.ipdl?N0000=110>

以上